

関係各位

2010年12月17日

**構造計画研究所、3月4日に複雑系研究コンペ「第11回MASコンペティション」を開催
～ 最優秀賞30万円、優秀賞10万円を研究費として贈与。1月11日参加登録締め切り ～**

プロフェッショナル・エンジニアリング・ソリューション・ファームを標榜する株式会社構造計画研究所（本社：東京都中野区、代表取締役社長 CEO：服部正太）は、2011年3月4日（金）に「第11回MASコンペティション」を本所新館で開催します。このコンペティションは、2001年から毎年開催しているもので、弊社が開発販売している複雑系シミュレーター「KK-MAS」（ケイケイマス）および「artisoc」（アーティソック）を使っている研究者の方々に、その成果を発表いただき、ユーザー間の技術および情報交換の場を提供すると同時に、今後の更なる普及活動に向けての情報収集を目的としています。毎年約10～15編の研究発表と60名程度の聴講者を迎えて、活発な議論がなされております。

審査委員長には、東京大学大学院総合文化研究科の山影進先生、審査委員として、筑波大学・秋山英三先生、東京工業大学大学院・寺野隆雄先生、明治大学・水野誠先生（50音順 他一名調整中）を迎え、「学生による挑戦」部門と「研究・実務への応用」部門それぞれで優秀賞を1～2名（またはグループ）選びます。その中から最優秀賞に値する発表があった場合に最優秀賞を1名（またはグループ）選出いたします。

参加方法は、以下の通りです。

まず、1月11日（火）までに規定の申込用紙に氏名を記載し、参加申し込みをしていただきます。参加登録後、1月27日（木）までにアブストラクト（概要書）を提出していただきます。アブストラクトに基づき一次審査を行った上で、10名程度の二次審査対象者を決定します。二次審査対象者には2月18日（金）までに論文、MASモデルを提出していただき、3月4日（金）に研究論文の発表を行っていただきます。

なお3月4日の聴講のみの参加、翌3月5日に実施しますMAS初学者を対象にした「artisoc チュートリアル」受講も併せて参加募集を行います。詳細はMASコミュニティサイトの実施要項を参照ください。

実施要領詳細サイト <http://mas.kke.co.jp/modules/tinyd3/>

構造計画研究所は、1996年から米国サンタフェ研究所のビジネスネットワークに参画し、複雑系分野の研究を継続して参りました。その後、日本発のマルチエージェント・シミュレータ「KK-MAS」を開発し、パッケージ販売およびコンサルティング事業を開始しました。同時に学界に対する無償貸与や関連書籍の出版等を行い、新規技術の日本での普及に努めており、これまでに多くの大学研究機関で活用され、その研究成果は様々な学会で発表されています。2006年には、「KK-MAS」を更に機能拡張した「artisoc（Artificial Society 人工社会）」の開発も行い、両者でこれまでに約350の大学・研究機関と企業にてご利用頂いております。また「KK-MAS」は、2002年に日本オペレーションリサーチ学会にて、事例研究賞を受賞いたしました。



昨年のMASコンペティションの様子

マルチエージェント・シミュレーション (MAS)

現象や状態、物質の組成について、それを構成する「要素」に細かく分解し、それぞれの要素を分析し、それらを積み重ねることにより全体の特徴を理解する要素還元のアプローチに対して、人間行動や経済現象・社会現象について、局所的な情報に基づき自立的に行動する「エージェント」を定義し、それらを相互作用させて、全体の振る舞いを包括的に理解する手法が、マルチエージェント的アプローチです。マルチエージェント・シミュレーションは、そのようなアプローチでモデリングを行います。これまで解釈が困難であった複雑な社会現象を理解する上で有効で、防災・避難、マーケティング、交通・人流、市場取引、合意形成、都市計画、建築設計などの分野で、広く活用されているシミュレーション手法です。

KK-MAS について

KK-MAS は、1998 年から IPA (独立行政法人情報処理推進機構) の「教育の情報化推進事業」の一環として開発を開始し、国際大学グローバル・コミュニケーション・センター (GLOCOM) や東京大学との連携による実証実験を経て、1999 年～2008 年の間、販売しました。現在は後継版である artisoc にその機能が含まれています。著作権は、構造計画研究所に帰属します。

artisoc について

artisoc は、2003 年度より 5 年計画で実施された科学研究費補助金学術創成プロジェクト「マルチエージェント・シミュレータによる社会秩序変動の研究」の一環として開発されたものであり、著作権は、構造計画研究所と東京大学大学院総合文化研究科・山影進教授の双方に帰属します。機能的には、「KK-MAS」の機能拡張版で、特に WindowsXP/2000/Vista/7 と MacOSX の両方で動作する点で大きく進歩いたしました。また、現在販売しております「artisoc 2.6」は、「artisoc 1.0」の操作性、処理速度、表現力を抜本的に見直し、社会シミュレーションを利用した発想支援や集団意思決定ツールとして利用するための機能が大幅に拡張されています。MAS コミュニティサイト <http://mas.kke.co.jp/>

関連書籍の出版に関して

2010 年「artisoc で始める歩行者エージェントシミュレーション ～原理・方法論から安全・賑わい空間のデザイン・マネジメントまで～ 兼田敏之 編者代表、構造計画研究所創造工学部、名古屋工業大学兼田研究室 著」 書籍工房早山
2007 年「人工社会構築指南 山影進 著」 書籍工房早山
2002 年「コンピュータのなかの人工社会 編者 服部正太、山影進」 共立出版
1999 年「人工社会 服部正太、木村香代子 訳」 共立出版

関連書籍の詳細 http://www.kke.co.jp/publications/decision_making/

構造計画研究所について

1959 年設立。現在、ネットワーク、マルチメディア、情報通信、移動体通信分野から建設、製造分野に至るまでの広範かつ最新の IT 技術を駆使したソフトウェア開発ならびにソフトウェアプロダクトを提供。さらに OR・シミュレーション手法を用いた工学・製造分野におけるコンサルティングサービスやマーケティング分野におけるコンサルティングサービスも行っています。また建設・環境分野における数値解析コンサルティングサービスや建築構造設計分野でも強みを発揮しており、様々な業界に対し、多様なソリューションを提供しています。構造計画研究所の詳細情報はウェブサイト <http://www.kke.co.jp/> をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

- ・ MAS コンペティション、KK-MAS、artisoc に関する窓口
株式会社構造計画研究所 創造工学部 田内 真惟人 (たうち まいと)
TEL:03-5342-1125 e-mail: mascompetition11@kke.co.jp
- ・ 報道メディア関係窓口
株式会社構造計画研究所 広報担当 佐藤仁宣、松本飛鳥
TEL:03-5342-1141 e-mail:kkeinfo@kke.co.jp

構造計画研究所および、構造計画研究所のロゴは、株式会社構造計画研究所の登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名などの固有名詞は、各社の商標又は登録商標です。

当社では、お客様やパートナーから発表のご承認をいただいた案件のみを公表させていただいております。ニュースリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。